



発行日 平成28年 3月 1日

発行 青森県立八戸工業高等学校  
全日制保護者と教職員の会  
PTA 調査広報委員会

TEL 0178(22)7348

URL <http://www.hachinohe-th.asn.ed.jp/>



大運動会



部活動紹介



スキー教室



弁論大会



修学旅行—スパイダーマンの前で—



部活動



体育大会



ハ工祭



壮行会

### ◆ 卒業特集 勉強と部活と青春と

- PTA 会長あいさつ
- 校長あいさつ
- えんぶりインタビュー

# D 電子科

担任 上村 大和

## 出会いと発見の3年間 3D副委員長

高校生活の3年間という時間はとても短く感じられました。特にこの工業高校は、運動会や八工祭など工業生らしい行事がたくさんありました。そんな行事をやっていく上で、クラスの人や他のクラスの人たちと知り合ったり、新しい発見をしたりと、高校生活が毎日充実していて嫌な思い出なんて無いくらいです。今、こうして出会えたクラスメイトや、お世話になった先生たちは、自分にとって「幸せな仕合わせ」だと思っています。



### 学科紹介

スマートフォンやテレビなどの通信機器、自動車やロボット・家電製品に欠かせないコントロール装置、家庭や会社・工場などで見かける電気を使う製品の全てに電子回路が組み込まれています。電子科の生徒は電子回路を作るための基礎やコントロールに利用するコンピュータのハードウェアとソフトウェアを勉強し、卒業後は通信系の会社はもちろん自動車メーカーに就職したり、大学で更に高度な知識・技術を習得したりしています。

### 主な資格・検定等

工事担任者、第二種電気工事士、陸上特殊無線技士、危険物取扱者、パソコン利用技術検定、情報技術検定、計算技術検定、品質管理検定(QC検定)



## 3年間の思い出 3N副委員長

私達、3年情報技術科の心に残った思い出は、高校生活最後の運動会と文化祭です。運動会では団長の坂本隼人君をクラス全員でサポートして、前年度よりも順位を2つ上げることができました。文化祭では、メニューの決定にとっても悩みましたが、皆それぞれの持ち場の仕事を一生懸命こなし、無事黒字を出すことができました。おいしかったと言ってくれた人達の笑顔は今でも忘れません。3年間、いつもみんなで協力し合い、楽しい毎日でした。



### 学科紹介

コンピュータがあらゆるところで活躍している現代、携帯電話をはじめとした通信ネットワーク技術・コンピュータシステムは現在の生活に欠かせないものとなっています。情報技術科は、コンピュータに関する基礎的な理論、利用技術をハードウェア・ソフトウェア両面から学び、システム開発者を目指す教育を行っています。

# N 情報技術科

担任 相馬 裕子

### 主な資格・検定等

基本情報技術者試験、ITパスポート試験、情報技術検定、計算技術検定、パソコン利用技術検定

# F 電子機械科

担任 川村 隆洋

## 仲間たちと築いた思い出 3F副委員長

私たち電子機械科は、3年間でいろいろなことがありました。私たちが過ごしていて最も思い出となっている事は、3年生の時の文化祭だと思っています。その時は、皆で協力し合い大成功を取めたと感じています。高校で会った仲間たちと築いた思い出は一生ものだと思います。私のクラスは県外就職などで離ればなれになる人もいますが、高校の時の体験したことを忘れずに過ごそうと思います。



### 学科紹介

人と同じに働くことができる「ロボット」は、工場や自動車・家庭用電化製品など、あらゆるものを作っています。このため、『設計する』『加工する』『動きをコンピュータで制御する』などの知識を身につけた技術者が必要になりました。このような時代に生まれたのが電子機械科なのです。

### 主な資格・検定等

技能検定(シーケンス制御・機械保全・機械加工機械検査)、第二種電気工事士、危険物取扱者、機械製図検定、計算技術検定、情報技術検定、パソコン利用技術検定

# S 土木建築科

担任 若澤 幸三



## いろいろあった3年間 3S副委員長

このクラスでは、3年間本当にたくさんがありました。楽しかったことも、悲しかったこともたくさんありました。最初は35人だったクラスも、33人になってしまいましたが、みんなで楽しく3年間を過ごすことができました。どの行事でも、いい成績を残すことができ、また、一つ一つがとてもいい思い出になりました。卒業したら、みんなで会える機会は少なくなるけれど、この3年間の思い出は、一生大切にしておきたいです。



## 学科紹介

道路などの社会基盤施設や快適な住環境の整備は、私たちの暮らしを支え、住みよい地域づくりに貢献しています。土木建築科では、実践的な技術者の育成をめざし、測量や建築構造などの基礎的な知識・技術・技能を学習します。また、実習や資格取得を通して、チームワークや自ら学ぶ姿勢を身につけます。

## 主な資格・検定等

測量士補、2級土木施工管理技術検定(学科試験)、2級建築施工管理技術検定(学科試験)、技能検定(木材加工)、ガス溶接技能講習、計算技術検定、パソコン利用技術検定、危険物取扱者

# 勉強と部活と青春と

卒業をする3年生の各クラスに3年間の思い出と各科の特徴を教してもらいました。

# K 材料技術科

担任 越 秀昭

## 笑いに全力投球 3K副委員長

常に笑いに対して全力だった3K。3年間、この35人が笑って過ごせたのも、笑いに対して全力だったからであろう。はめをはずす時もあったが、今となっては良き教訓となった。定期テスト、大運動会、球技大会、八工祭、そして各々の就職・進学の実験。越先生、坂下科長などの先生方に支えられながら、一致団結して乗り越えてきた。この3Kだったから乗り越えられたのだ。私は3Kでの思い出や、学んだ事を絶対に忘れない。みんな大好きだ!!

## 学科紹介

私たちの身のまわりには、数え切れないほどの工業製品があり、生活を豊かにしています。またこれからは、環境に調和したものづくりが大切になります。材料技術科では様々な工業製品のもとになる「素材の性質・取り出し方(製錬技術)・加工方法」を学びます。

## 主な資格・検定等

技能検定(金属熱処理・機械保全)、危険物取扱者、ガス溶接技能講習、アーク溶接特別教育、計算技術検定、情報技術検定、パソコン利用技術検定、基礎製図検定



いし、本当に子育てというのは難しいですね。  
親は子の鑑、子は親の鑑って言いますから。

# M 機械科

担任 志村 康秀

一致団結！ 3M副委員長

特に文化祭が印象に残っています。クラスで何をやるか話し合い、値段を決めることや、材料は何を使うか、店の装飾など一から全て自分たちでやり、2日間とても充実していたことを覚えています。この経験は社会でどのようなところで発揮できるかわかりませんが、一からできたという自信はとても大きいと思います。それぞれの道を歩みますが、クラス一つとなり、頑張れたという誇りを胸に生きていきましょう。またどこかで。

## 学科紹介

機械科では機械に関する設計、製図、機構、自動制御などの基礎的な知識、技術を学習します。将来は各種生産機械のオペレーターや設計者として活躍できるよう、実験、学習を通して「思いやり」「総合的な判断力」のある技術者を育成しています。いろいろな機械操作を学び、ものづくりにチャレンジしよう。

## 主な資格・検定等

危険物取扱者、機械製図検定、計算技術検定、ガス溶接技能講習、アーク溶接特別教育、パソコン利用技術検定、技能検定3級・2級（機械保全・機械加工・機械検査）



# E 電気科

担任 工藤 一嘉

笑いと言苦の3年間 3E副委員長

私の3年間の思い出は、日常生活です。3年電気科は仲の良いクラスです。体育のバスケでは、本気でぶつかり合いハイスコアの試合をしました。家庭科では、「ハイオク井」について鎌倉先生に教えていただきました。また、大運動会で勝つために、一つになって努力しました。私はこの3年間で、たくさん笑い、たくさん苦労し、多くの事を経験することが出来ました。これからは、3年間の思い出を忘れずに、社会人として努力していきたいです。



## 学科紹介

電気は私たちの生活にはなくてはならないものであり、あらゆる産業の根幹を成すものです。電気技術者は社会の様々な場所で必要とされています。電気科では、電気に関する基礎的な知識・技術を習得し、資格取得を通して、自らが学ぶ意欲と主体性を身につけ、広く産業界で活躍できる技術者を育成します。

## 主な資格・検定等

電気工事士、電気主任技術者、計算技術検定、2級電気工事施工管理技術検定(学科試験)、パソコン利用技術検定、危険物取扱者

「子供は親の言うことは聞かなくても、親のする通りにはするものです。親の生き方こそ、子供にとって最高の教材です。」これはもう、反省するしかありません。

以前、松尾馬奮という人の川柳「叱ってはみたが子供は俺に似る」を紹介しましたが、私自身、これらの言葉が本当に身にしみる今日このごろなのです。

我が子を見ていると、些細なことでも目につき、気になったりして、高校生位までは頭ごなしに叱ってしまうことがあります。勉強しないと喋っては(自分もしなかったのに)叱り、成績が悪いと喋っては(自分も...)叱り、部屋がちらかっていると喋っては叱りで、後で考えれば、自分にできなかつたことや、自分に似ていることが多かつたことに気付いてしまうのです。

そうかと言って、子供が高校を卒業してから、ものわりの良い親になって、すべて本人にまかせようにならなければならぬ、今になって間違いだと気付かされるようになりませんでした。

そこで、今更ながら、自省の念をこめて、「本当に叱るべきときは自信を持って叱り、話を聞こう。」そして高校を卒業してもまだまだ子供。放任しないで面倒をみよう。」

子は親の鑑?

三学年主任 山崎 昌治

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。  
 三年前、希望と不安を抱え、この八戸工業高校に入学したことを、つい昨日のことのように思われていることでしょうか。長いと思つた高校生活も、振り返ればあっという間の時間だったに違いありません。

皆さんにとって、二度とない高校生活はどのようなものでしたか。楽しく過ごせましたか。皆さんが八戸工業高校で体験したこと、修得したことが、これからの長い一生の中で、財産として活かされる時が来ると思います。



### 決断と責任

PTA会長 沖野 匠一

進学とそれぞれの道を進んでいきます。一人ひとりが未知の世界への期待を感じていることと思います。そんな皆さんに、私からのお願いです。自分から決断して前へ進んでほしい。この自分の人生は、自分で決断して前へ進んでほしい。

成長していけるのではないのでしょうか。折しも時代は変わり、十八歳で選挙権を得ることになりました。あなた達は今まで以上に必要とされる「人財」にならなければならないのです。自分に与えられた使命を自覚し、それぞれの夢の実現に向かって邁進してほしいと思います。皆さんの前途が洋々であるように願っております。

## ものづくりコンテスト 青森県大会 旋盤部門 八工V2



1月8日の県大会に学校代表として出場しました。練習中に起きたことのないミスが重なりましたが、3つの部品のうち2つの部品を完璧に仕上げ、優勝することができました。川村先生の「福島の高多方ラーメンを食べたい」という、練習中の強いプレッシャーに耐えたお陰か、粘ることができました。東北大会（福島大会）ではさらに高精度な部品を作り、賞状を持ち帰りたいと思います。  
 2F 田代 祐葵奈



### 祝卒業

校長 赤坂 裕一郎

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。そして、これまでの長きにわたり見守り、支えてくださいました保護者の皆さんに、心から御礼とお祝いを申し上げます。

我が国は、今、時代の大きな転換期を迎えています。かつての人口増加、大量生産・大量消費といった右肩上がり

文化を吸収し改良・模倣する時代から、日本独自の新たな価値を創造するフロントランナーとなることを目指している時代へと変化しています。このグローバル化や情報通信

りを見せています。一例を挙げると、自動機械メーカーのファナック(株)という会社の工場では、さまざまな工業用ロボットが別のロボットの部品を作ったり、組み立てを行ったりしています。かつてはマンガの世界だけだった話が、現実のものとなつていきます。ロボットに限らず、新しい技術

皆さんのこれからの挑戦は、新しい社会づくりへの挑戦です。学び、身に付けた知識と技術を手がかりに、大きな志を抱いて仕事に真摯に取り組み、新しいことに果敢に挑戦してください。皆さんが、生き生きと自分の人生を切り開き、幸福な社会づくりに貢献してくれることを心から願っています。



- ①部長 長谷部 雄 大
- ②部員数 男子 19 名 女子 2 名 計 21 名
- ③部のPR アイスホッケーは「氷上の格闘技」と言われるほど激しいスポーツです。体を張ってゴールを守るなどチームが一体となって戦います。学年関係なく仲が良く、チーム一丸となり、一つの目標に向かって努力できるチームです。

### シリーズ部活動紹介 アイスホッケー部

# えんぶりで国際交流 参加の田代君、沼田君に聞く

U・S・N国際交流協会に本校から、田代修一君(3F)と沼田真和君(3M)が参加しました。昨年12月21日から1月11日まで、米国の首都ワシントンやハリソンバーグ市を訪れ、ホームステイをしながら、えんぶりや虎舞、相撲などを披露しました。

―八太郎杵組に所属していますが始めたきっかけを教えてください。

**田代** 家族全員がやっていたので4歳から自然に始めました。本格的に始めたのは中学に入学してからです。

**沼田** 中学に入学してから友人に誘われたのがきっかけでした。初めの頃は大変でしたが、観てくれる人達が褒めてくれて楽しくなりました。

―出発前に、「初めて海外に行くので緊張しているが、アメリカの高校生たちの心に残るように交流できればいい。」と話していましたがどうでしたか？

**田代** テロの予告があったので、アメリカの高校生達との交流ができなくなり残念でした。でも首都ワシントンやハリソンバーグ市の教会や小学校、図書館での交流には大勢の人が集まってくれました。



北稜中の中から一緒に始めた沼田君(左)と田代君(右)

―見てくれた人達の反応はどうでしたか？

**沼田** 何が始まるのかと、あまりにも真剣な表情で見られるのでとても緊張しました。

―えんぶりを披露する際に説明と口述を英語で述べることも挑戦したそうですが、上手く伝えられましたか？

**田代** 出発する前に志村康秀先生が英文に直してくれた資料を持って行きました。ホームステイ先の方が資料を基に公演の際にわかりやすく説明してくれたので、ほっとしました。おかげで舞に集中できました。

―公演を見てくれた人達の反応などで、特に印象に残っていることを教えてください。

**田代** 日本に興味のある方が、えんぶりにとても感動してくれて色々質問をしてきました。その方は将来日本に来たいそうです。

―5名で行ったそうですが、お離子はどうしましたか？

**田代** 高校生は4名で、太夫は僕と沼田が担当しました。笛は持参し、太鼓や鐘の音はスマホに録音して行きました。恵比寿舞の釣り竿は、えんぶり組の人が持ち運びしやすいようにオリジナルで作ったので感謝しています。



訪れた地元の新聞でも大きく紹介された

た。暖炉に使う新割り体験で驚いたのが規模の大きさです。トラクターのタイヤが自分の背丈の1.5倍もありました。直径一メートルの丸太をトラクターの後に付けた機械で地面に突き刺すように落とすと上手く割れるのにも驚きました。

―これからもえんぶりは続けたいですか？

**田代** えんぶりを続けていきたいので地元の会社に就職を決めました。でも仕事とえんぶりの両立は難しいと先輩方の姿を見ていて感じます。時期には仕事を調整しながら上手に続けられればと思います。

**沼田** 栃木県内の会社に就職が決まりましたが、えんぶりの時期には八戸へ戻り参加したいと思っています。

## 楽しくてもっと滞在したかった！

ハリソンバーグ市は、映画「風と共に去りぬ」に出て来そうな町並みや豊かな自然に囲まれた町で、二人はもっと残っていたかった様子でした。

「帰国した次の日に、アメリカでは大寒波となり、一日延びていれば帰れなかったね。」と話してくれました。

## 編集後記

調査広報委員会委員長

花部 真理子

八戸工業高校で正式に調査広報委員会が出来て三年が経とうとしています。一年目は模索し、二年目は紙面のサイズを変えアンケートを載せました。三年目の今年はいんタビューを掲載するなど内容も充実し、かなり進化したのもになったのではと自負しています。お陰さまで、今年はいん高P連の広報紙コンクールで、待望の優秀賞を頂くことができました。新しいものを取り入れることは冒険であり勇気も必要になります。学校やPTA役員の皆さまにご理解をいただいたこともあり、調査広報委員の頑張りが一番の原動力でした。本当にありがとうございました。

子どもが入学する前に「工業のPTAは凄いいよ。」とある人から聞きました。どのように凄いかは入学後に、なるほどと理解できました。これからも、この伝統を引き継いで生徒や学校のために楽しく活動してください。その活動を八戸の空の下で応援しています。

## 広報紙77号 優秀賞に輝く

